

Cisco Unified IP Phone オーバーフローおよびサービス拒否の脆弱性

Critical	アドバイザーID : cisco-sa-20080213-phone	CVE-2008-0527
	初公開日 : 2008-02-13 16:00	CVE-2008-0528
	バージョン 1.0 : Final	CVE-2008-0526
	CVSSスコア : 10.0	CVE-2004-2486
	回避策 : Yes	CVE-2008-0530
	Cisco バグ ID :	CVE-2008-0531
		CVE-2008-0529

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Unified IP Phone モデルは複数のオーバーフローおよびサービス拒否 (DoS) 脆弱性が含まれています。これらの脆弱性の複数のための回避策があります。Cisco では、該当するお客様用に、この問題に対応するソフトウェアを無償で提供しております。

このアドバイザーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080213-phone> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

次の Cisco Unified IP Phone 実行するデバイス Skinny Client Control Protocol (SCCP) ファームウェア:

- 7906G
- 7911G
- 7935
- 7936
- 7940
- 7940G
- 7941G
- 7960
- 7960G
- 7961G
- 7970G
- 7971G

次の Cisco Unified IP Phone 実行するデバイス セッション開始プロトコル (SIP) ファームウェア:

- 7940
- 7940G
- 7960
- 7960G

IP Phone で動作するファームウェアの版は電話の Settings メニューまたは電話 HTTP インターフェイスによって判別することができます。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

これらの脆弱性を含むその他の Cisco 製品は現在のところ報告されていません。これには次の Cisco Unified IP Phone デバイスが含まれています:

- 7905
- 7912
- 7921
- 7931
- 7937
- 7942
- 7945
- 7962
- 7965
- 7975

改訂履歴

リビジョン 1.0	2008-February-13	初回公開リリース
--------------	------------------	----------

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。